

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1(1)	平成28年5月よりホームの場所が鹿島町から平田等に移転した。また、12月1日よりグループホーム管理者も交代となった。新しい環境・新しい管理者の元、新しいホームを作り上げるべく模索している。	鹿島時代の「愛情和笑顔」の基本理念・精神を受け継ぎながら、新たなスローガンを掲げ、敵環境を活かしたより良い生活の場の提供に努める。	①時間のない中であるが、29年1月中に、新たなスローガンを決定する。 ②余裕ある敷地等の環境を活かし、新たな生活リズム・レクリエーション等を構築する。	6ヶ月
2	2(2)	ホームの移転に伴い、鹿島で築いてきた地域との関係がゼロとなり、一から地域との交流・信頼関係を構築していくという現状である。	地域の方が気軽に訪問できる施設となるよう、デイサービス・有料老人ホームの併設施設も含め、一丸となって取り組む。	①福祉体験の受け入れを行っている蒲郡中学校が徒歩圏内にあり、関係を強化していく。(例えば部活動の見学、施設イベントへの案内等)。 ②「①」の関わりを基点に交流の輪を広げていく。	12ヶ月
3	35(13)	ホーム移転後、避難訓練の実施もできず、災害対策への対応が不十分であった。	グループホーム単独の災害対策ではなく、施設全体としての非常連絡網・災害対策を構築する。	①福祉指定避難所のマニュアルも参考とし、体制を構築する。 ②避難訓練は12月中に実施し、災害対策への意識付けを再度徹底する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。